



2018年度通期業績について

2019年6月6日
フィデアホールディングス 株式会社
株式会社 荘内銀行
株式会社 北都銀行

2018年度通期業績および2019年度業績予想

2018年度通期決算の概要	3
資金利益	4
預金、貸出金	5
有価証券	6
役務取引等利益	8
経費	9
自己資本比率	10
与信関係費用、金融再生法開示債権	11
2019年度 業績予想	12
配当方針	13

資料編

預金、貸出金	15
自己資本比率、資本配賦	16
（銀行単体）2018年度 通期業績	17
（銀行単体）2019年度 業績予想	18
（銀行単体）資金利益、利回り	19
（銀行単体）資金運用収益、資金調達費用	20
（銀行単体）預金、貸出金	21
（銀行単体）有価証券	22
（銀行単体）有価証券、預かり資産	23
（銀行単体）役務取引	24
（銀行単体）コア業務粗利益OHR、与信関係費用	25
（銀行単体）金融再生法開示債権	26

グループ概要

グループ概要	28
店舗ネットワーク	29
沿革	30
連携戦略	31

[当資料に関するお問い合わせ先] フィデアホールディングス(株) IRグループ
 大石 (Tel : 022-290-8800) 佐藤 (Tel : 023-626-9006) 古木 (Tel : 018-833-4211)

2018年度通期業績 および 2019年度業績予想

2018年度通期決算の概要

(億円)	番号	18/3期 (実績) ①	19/3期		計画比 ③-②	前期比 ③-①
			(計画) ②	(実績) ③		
経常収益	(1)	510	—	488	—	△22
連結粗利益	(2)	350	337	343	6	△7
コア業務粗利益	(3)	368	340	340	0	△28
うち資金利益	(4)	325	294	299	5	△26
うち役務取引等利益	(5)	49	53	50	△3	1
うち国債等債券損益	(6)	△18	△3	2	5	20
経費	(7)	296	290	286	△4	△10
うち人件費	(8)	156	152	150	△2	△6
うち物件費	(9)	117	118	116	△2	△1
実質業務純益	(10)	54	47	57	10	3
コア業務純益	(11)	72	50	54	4	△18
与信関係費用	(12)	11	9	5	△4	△6
株式等関係損益	(13)	17	3	4	1	△13
経常利益	(14)	65	44	50	6	△15
特別損益	(15)	△3	△5	△7	△2	△4
税金等調整前当期純利益	(16)	62	39	43	4	△19
法人税等合計	(17)	19	4	4	0	△15
親会社株主に帰属する当期純利益	(18)	42.8	34.5	37.8	3.3	△5.0
コア業務粗利益OHR	(19)	80.40%	85%台	84.00%	△1%	3.60%

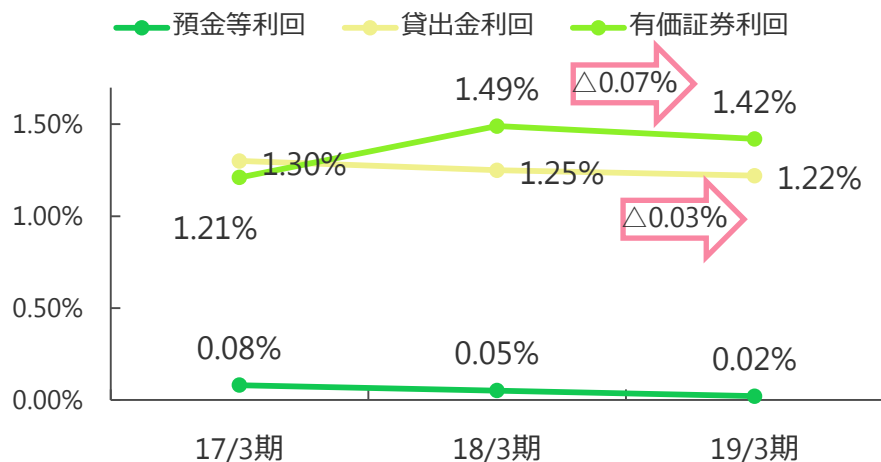
【計画比】

- 中間期業績の上振れにより通期計画を11月に上方修正。資金利益の上振れや、経費削減の進捗などから、経常利益は計画比+6億円の着地。

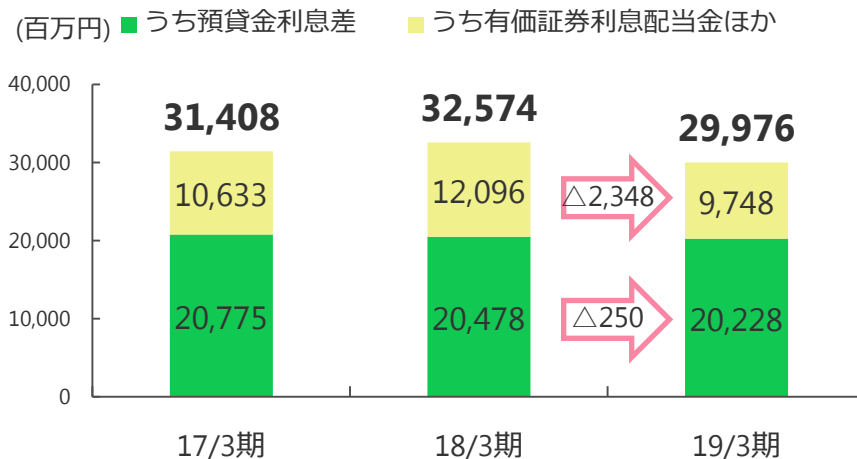
【前期比】

- 経費や与信関係費用の減少の一方で、資金利益や株式等関係損益の減少を主な要因として、経常利益は前期比△15億円。

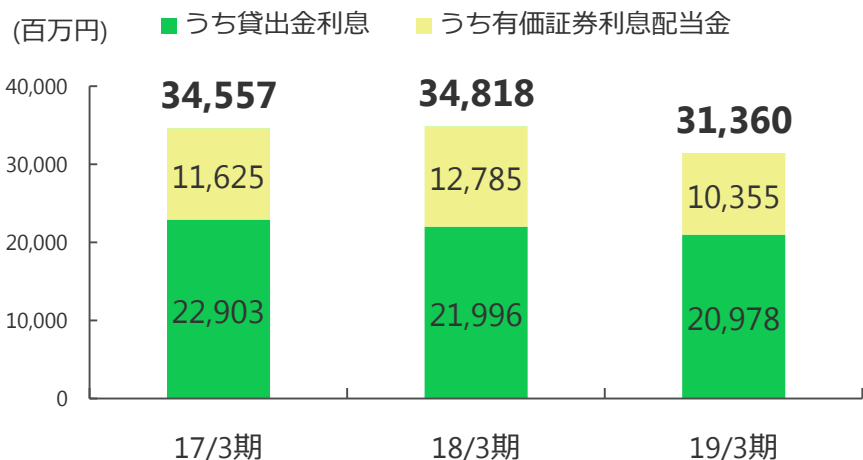
預貸金利回り <2行合算>



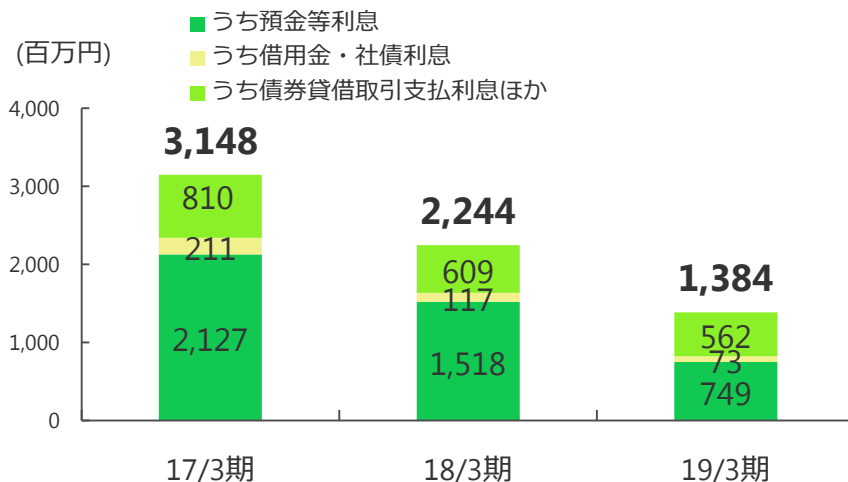
資金利益の内訳 <連結>



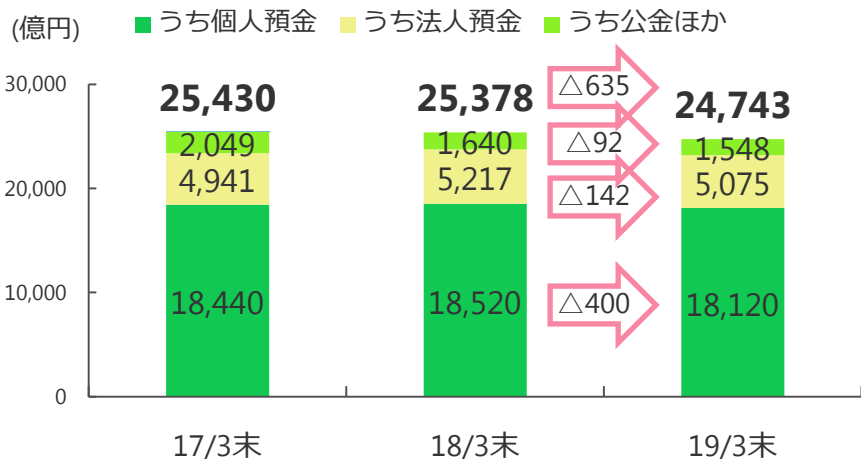
資金運用収益 <連結>



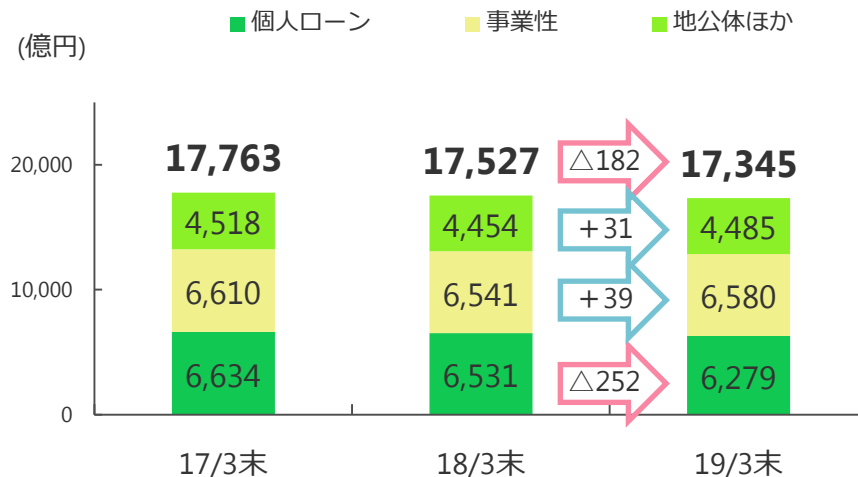
資金調達費用 <連結>



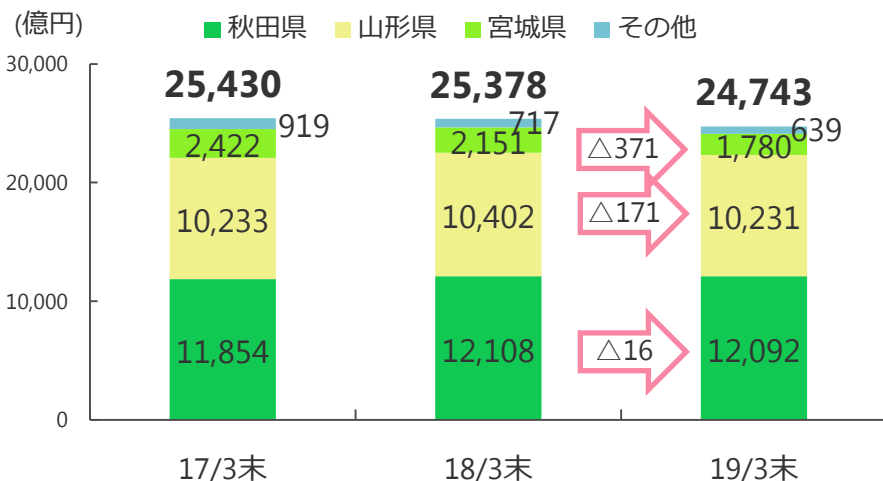
主体別預金等残高 <2行合算>



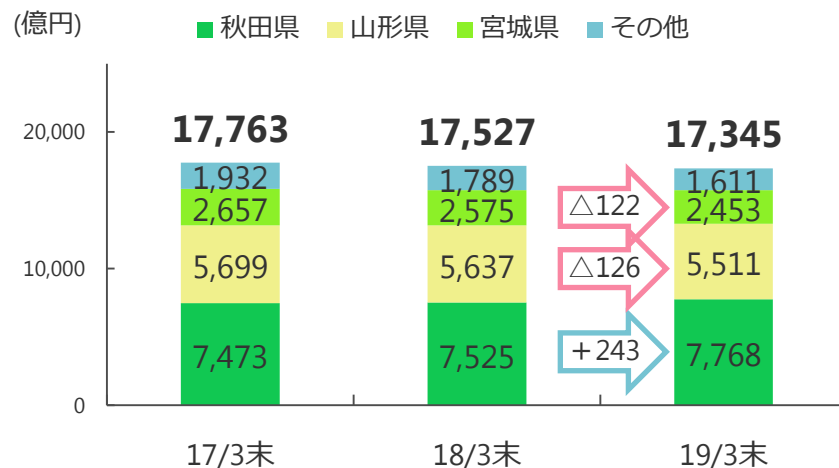
主体別貸出金残高 <2行合算>



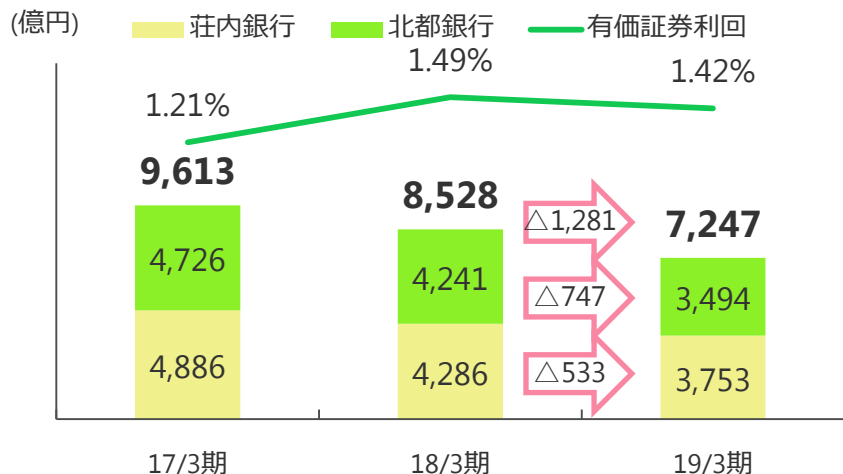
地域別預金等残高 <2行合算>



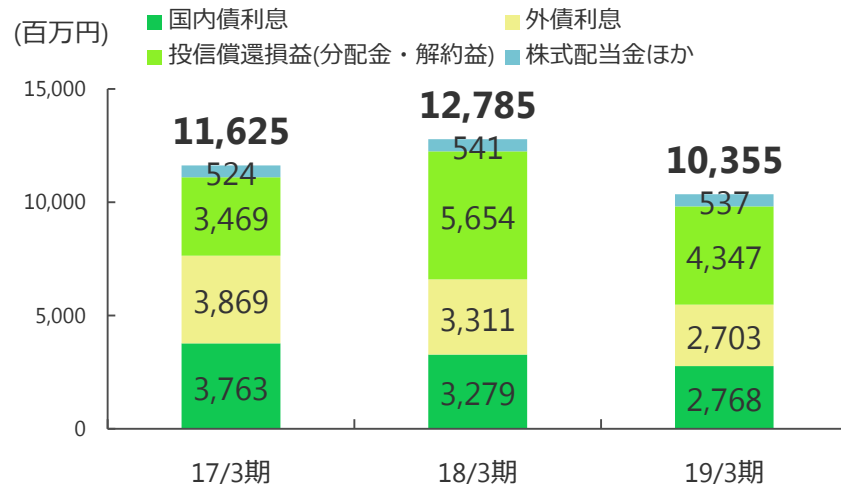
地域別貸出金残高 <2行合算>



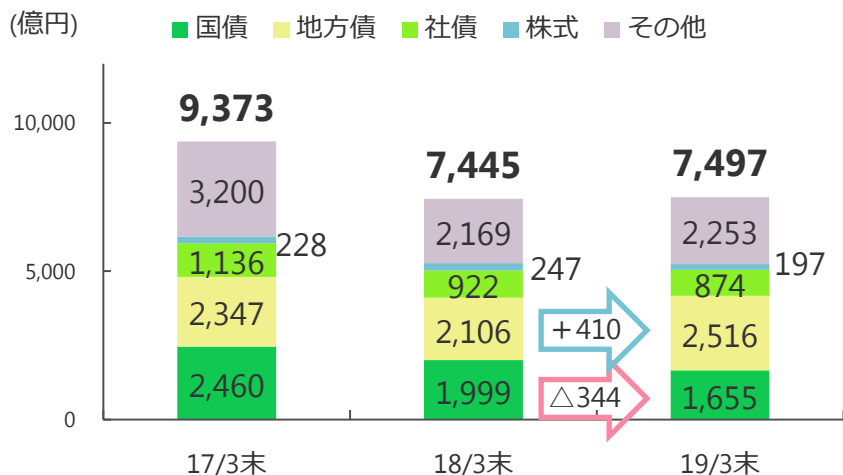
有価証券平残 <2行合算>



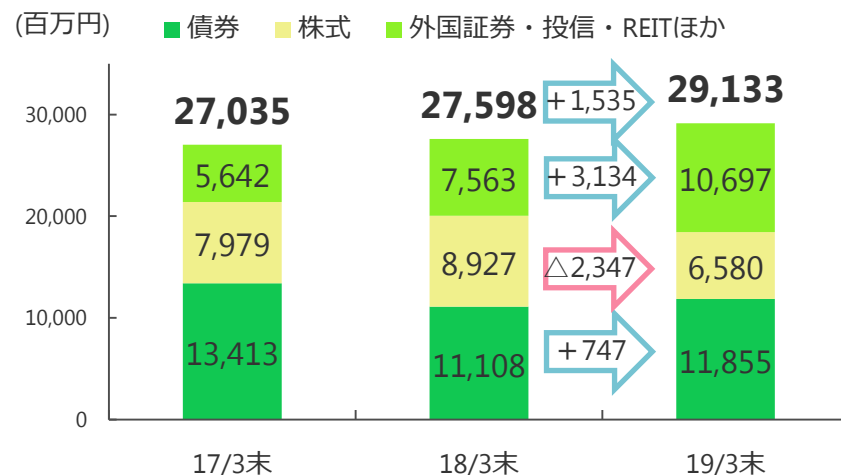
有価証券利息配当金 <連結>



有価証券残高 <連結>



有価証券 評価損益 <連結>



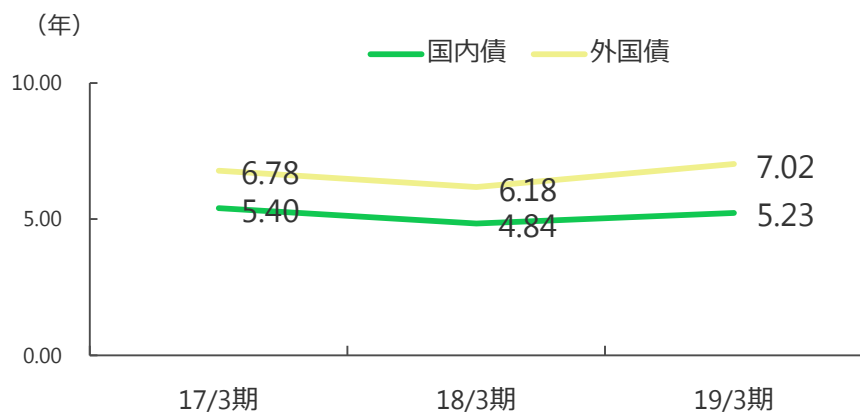
国債等債券損益 <連結>

(百万円)	17/3期	18/3期	19/3期
国債等債券損益	1,247	△1,820	252
国債等売却益	4,775	2,479	3,718
国債等償還益	—	—	—
国債等売却損 (△)	3,499	4,300	3,466
国債等償還損 (△)	—	—	—
国債等償却 (△)	28	—	—

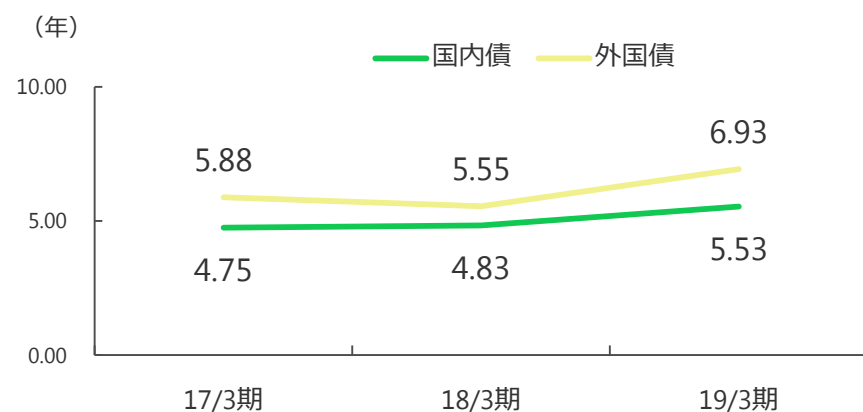
株式等関係損益 <連結>

(百万円)	17/3期	18/3期	19/3期
株式等関係損益	1,132	1,717	498
株式等売却益	1,624	2,018	1,842
株式等売却損 (△)	476	272	1,342
株式等償却 (△)	15	28	0

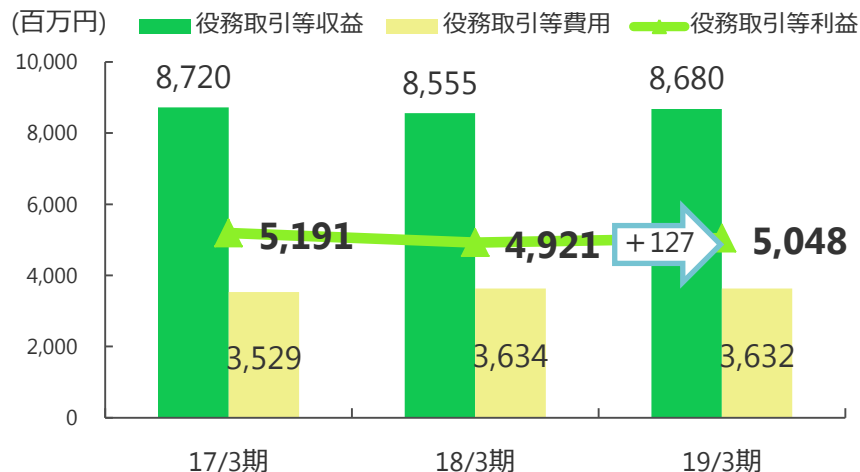
デュレーション <荘内銀行 単体>



デュレーション <北都銀行 単体>



役務取引等利益 <連結>



役務取引等利益比率 <連結>

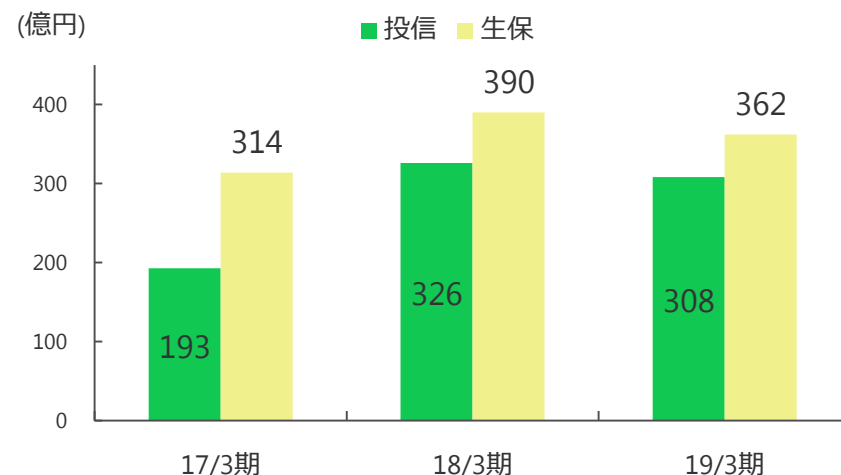
(百万円、%)	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期中計目標
役務取引等利益比率	14.4%	13.3%	14.8%	19% 台
役務取引等利益	5,191	4,921	5,048	—
コア業務粗利益	35,929	36,887	34,079	—

※ 第3次中期経営計画における目標指標の設定
 役務取引等利益比率 = 役務取引等利益 ÷ コア業務粗利益

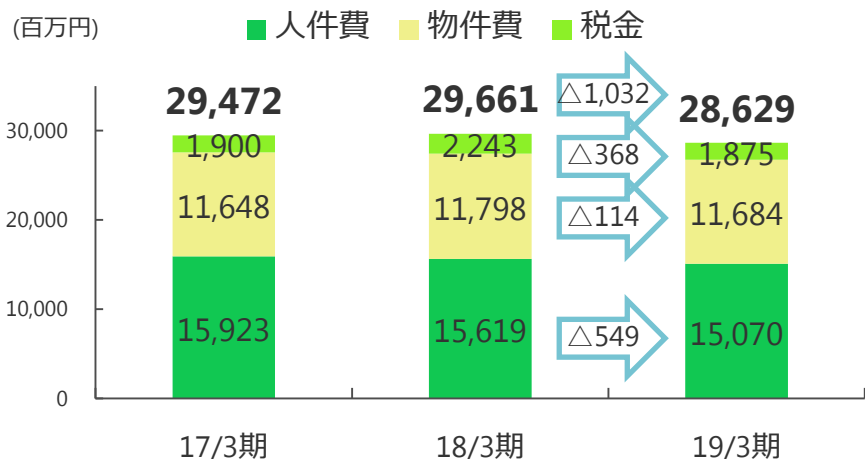
役務取引等収益の内訳 <2行合算>

(百万円)	17/3期	18/3期	19/3期
役務取引等収益	7,995	7,885	8,055
受入為替手数料	1,712	1,700	1,747
その他の受入手数料	6,283	6,184	6,307
投信関連	804	1,006	913
保険関連	2,090	1,758	2,074
ATM関連	684	641	605
口座振替	676	677	679
シローン関連	186	274	141
その他	1,843	1,828	1,895

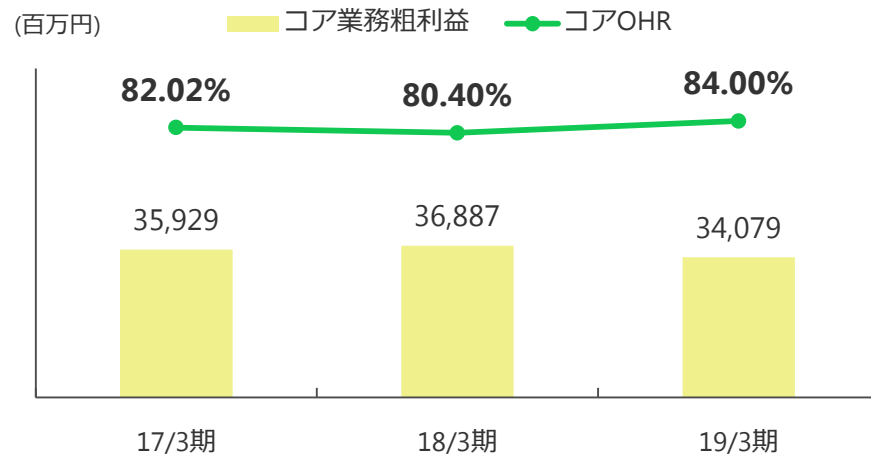
預かり資産販売額 <2行合算>



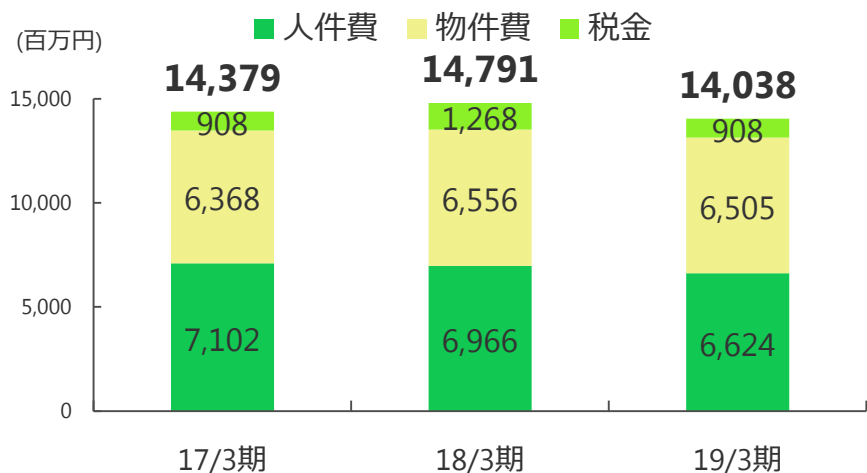
経費 <連結>



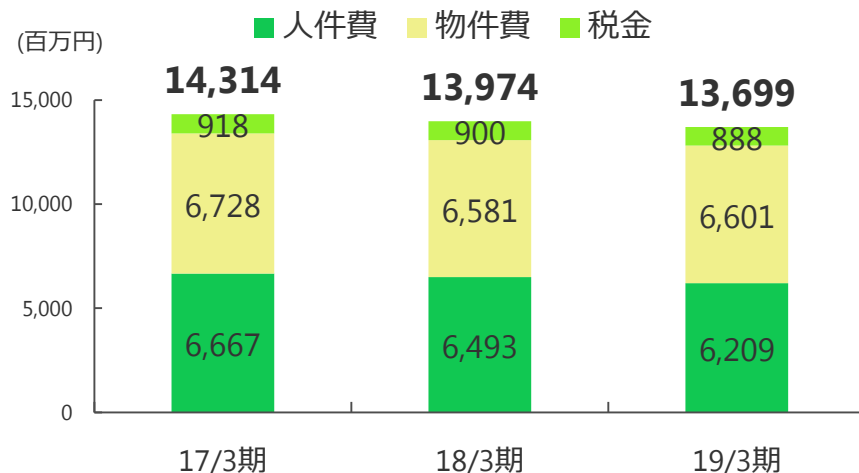
コア業務粗利益OHR <連結>



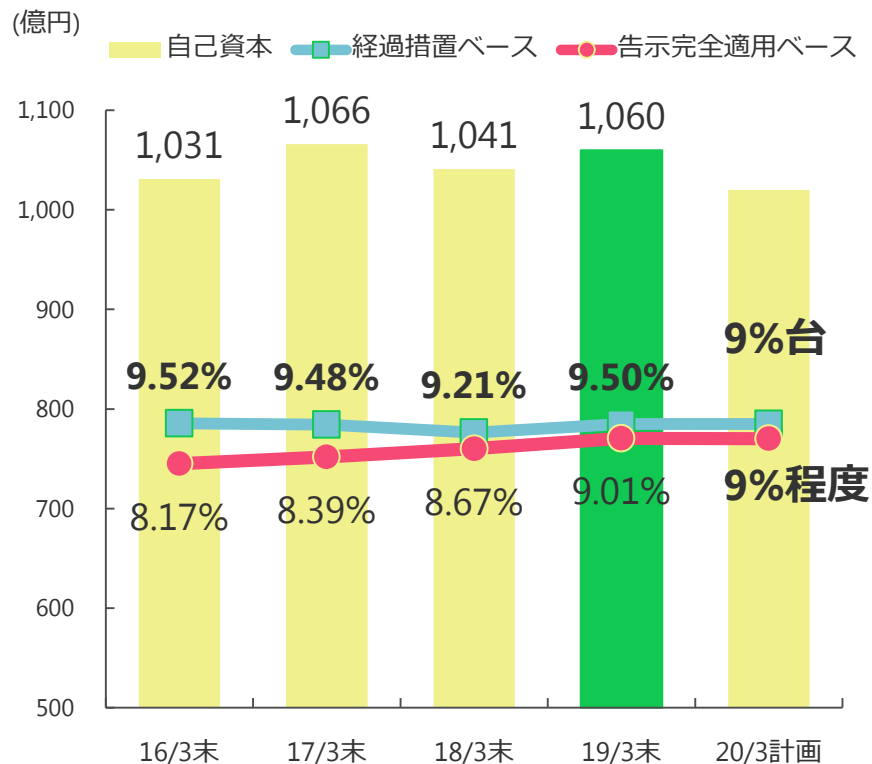
経費 <荘内銀行>



経費 <北都銀行>



自己資本比率 <連結>



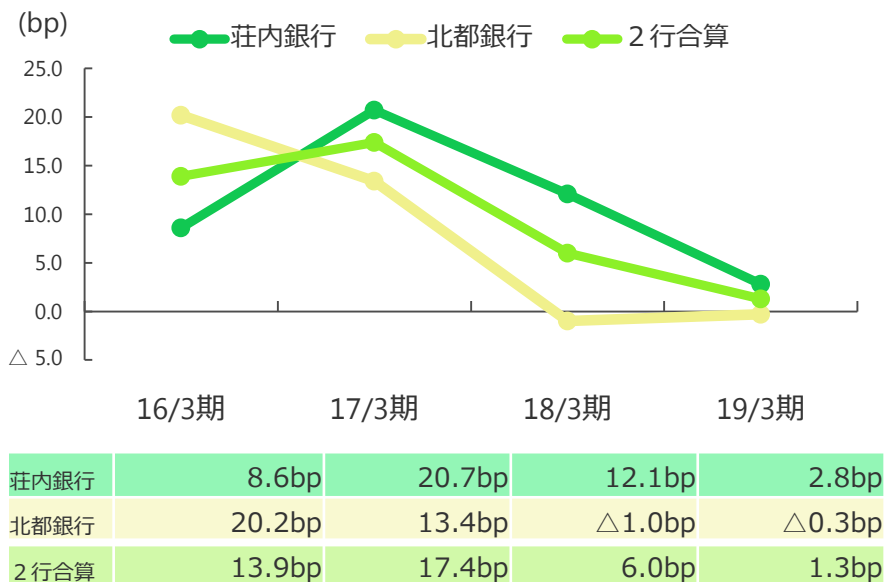
自己資本・リスクアセット <連結>

(億円)	18/3末	19/3末	増減
基礎項目	1,060	1,081	21
株主資本	952	979	27
その他の包括利益累計額	△5	△8	△3
引当金	57	56	△1
劣後債務	50	50	0
土地評価差額金	4	3	△1
その他	1	1	0
調整項目	△19	△21	△2
無形固定資産(のれん以外)	△11	△11	0
繰延税金資産	△6	△7	△1
退職給付に係る資産	△1	△0	1
その他	△0	△0	0
自己資本	1,041	1,060	19
リスクアセット	11,302	11,155	147
自己資本比率	9.21%	9.50%	0.29%

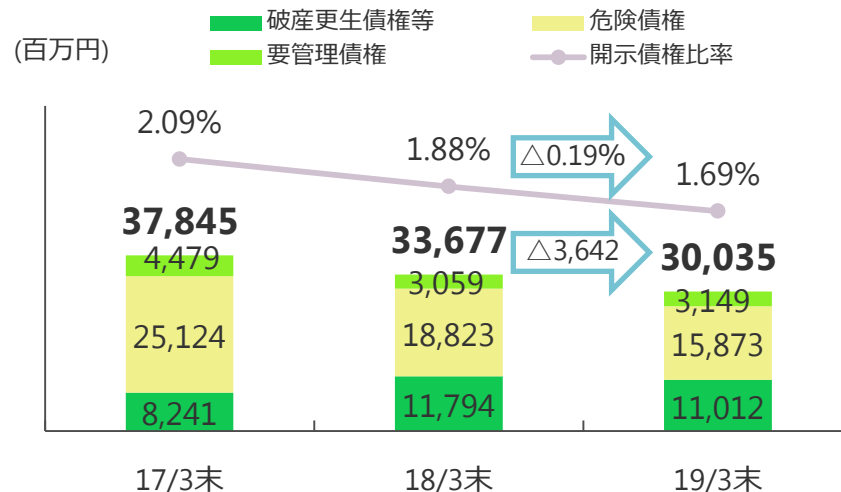
与信関係費用 <連結>

(百万円)	17/3期	18/3期	19/3期
与信関係費用 (△)	3,113	1,187	538
一般貸倒引当金繰入額 (△)	281	△713	△44
不良債権処理額 (△)	2,982	2,005	740
貸倒引当金戻入益	-	-	-
償却債権取立益	150	104	157

信用コスト率 <2行合算、単体>



金融再生法開示債権 <2行合算>



金融再生法開示債権保全率 <2行合算>

(百万円)	債権額 (a)	保全額 (b)		保全率 b÷a	
		担保保証等	貸倒引当金		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	11,012	11,012	5,407	5,605	100.00%
危険債権	15,873	14,061	11,826	2,234	88.58%
要管理債権	3,149	2,078	1,294	783	65.98%
合計	30,035	27,151	18,528	8,623	90.39%

2019年度 業績予想



(億円)	番号	19/3期 (実績)①	19/9期 (計画)	20/3期 (計画)②	前期比 ②-①
経常収益	(1)	488	—	—	—
連結粗利益	(2)	343	162	325	△18
コア業務粗利益	(3)	340	161	322	△18
うち資金利益	(4)	299	139	279	△20
うち役員取引等利益	(5)	50	27	54	4
うち国債等債券損益	(6)	2	1	3	1
経費	(7)	286	140	278	△8
うち人件費	(8)	150	74	148	△2
うち物件費	(9)	116	56	111	△5
実質業務純益	(10)	57	22	46	△11
コア業務純益	(11)	54	20	43	△11
与信関係費用	(12)	5	3	10	5
株式等関係損益	(13)	4	5	10	6
経常利益	(14)	50	24	47	△3
特別損益	(15)	△7	△1	△6	1
税金等調整前当期(中間)純利益	(16)	43	22	40	△3
法人税等合計	(17)	4	6	10	6
親会社株主に帰属する当期(中間)純利益	(18)	37	16	30	△7
コア業務粗利益OHR	(19)	84.00%	—	86%台	—
預金等平残 (2行合算)	(20)	25,367	—	25,000	△367
貸出金平残 (2行合算)	(21)	17,352	—	17,400	48
有価証券平残 (2行合算)	(22)	7,247	—	7,450	203

■ 現在の緩和的な政策スタンスがしばらく継続する前提のもと、引き続き貸出金利回りは低下する見通し。
有価証券利息配当金を含め、資金利益の減少を見込む。

■ コンサルティング営業への注力による役員取引等利益増強4億円、経費削減8億円を含め、経常利益は3億円減少の47億円、純利益は7億円減少の30億円を見込む。

■ 預金等平残は、定期預金金利見直しの影響などから、個人預金および公金預金を中心に減少を見込む。

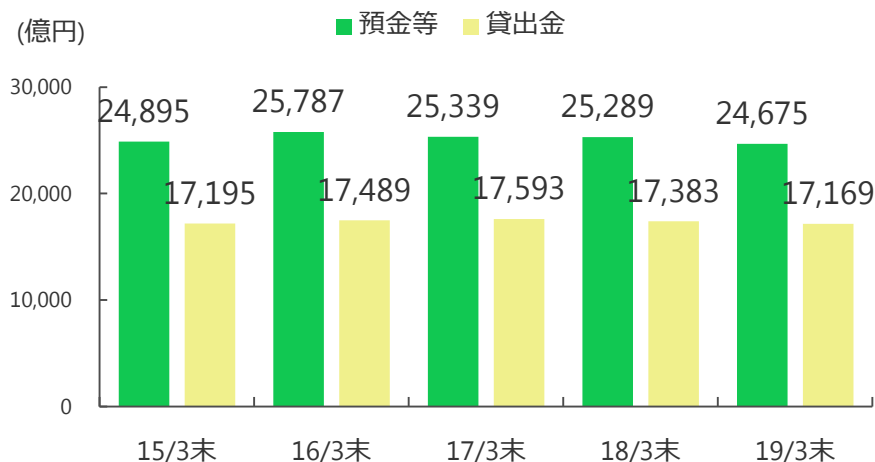
■ 貸出金平残は、山形県内および秋田県内の事業性貸出への注力を含め、増加を見込む。

- 当社は、グループの中核事業である銀行業務をはじめとした各種事業の公共性を鑑み、長期的視野に立った経営基盤の確保に努めながら、株主の皆さまに対し安定的な配当を行うことを基本方針としている。公的資金の早期返済を展望しながら、業績を踏まえた経営体質の改善、強化に向けた内部留保および安定的な配当の維持に取り組む。
- 2019年3月期の普通株式の1株当たりの配当金は、中間配当3円、期末配当3円、年間配当金6円を実施済み。
2020年3月期の普通株式の1株当たりの配当金は、前期同様、年間配当金6円を予定。
- B種優先株式（公的資金）の配当年率は、毎年4月1日（銀行休業日の場合はその直後の営業日）公表の日本円TIBORにより、「B種優先配当年率 = 日本円TIBOR（12ヶ月物） + 1.00%」として算定。

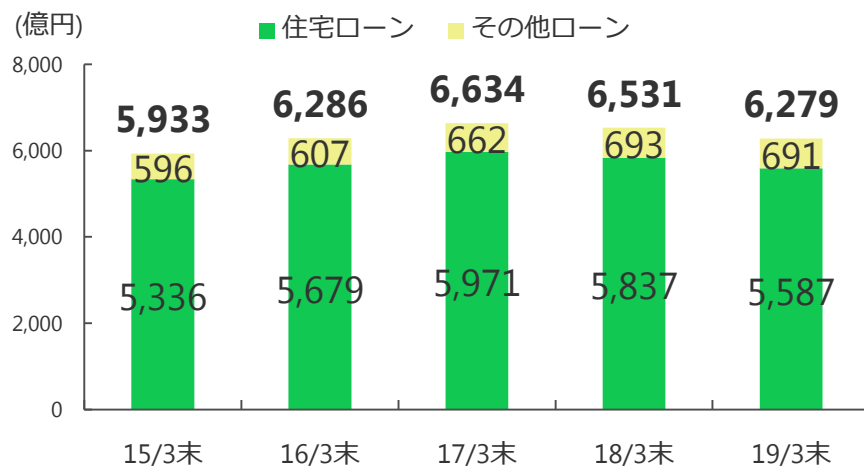
	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期 (予想)
【普通株式】						
1株当たり年間配当金 (うち中間配当)	5円 (-)	6円 (-)	6円 (3円)	6円 (3円)	6円 (3円)	6円 (3円)
配当金総額 (百万円)	739	1,037	1,088	1,088	1,088	1,088
配当性向 (連結)	9.5%	11.4%	23.8%	26.1%	29.6%	37.7%
【B種優先株式】						
配当金総額 (百万円)	132	128	118	112	113	113

資料編

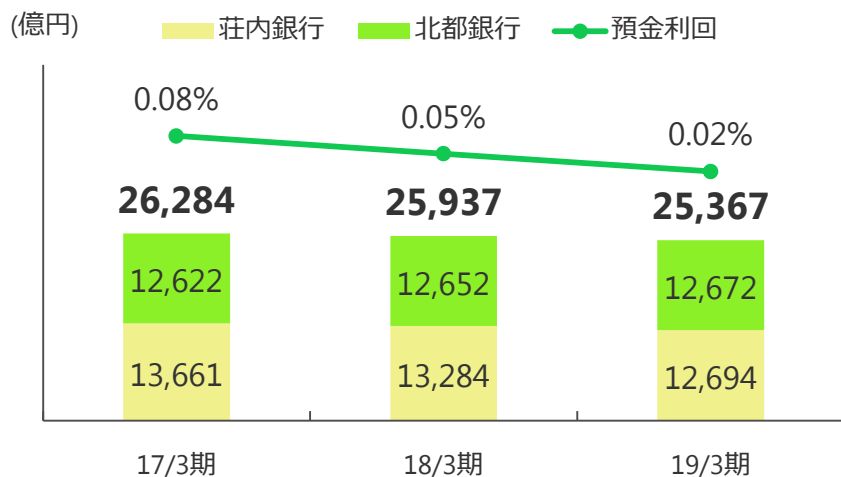
預貸金残高 <連結>



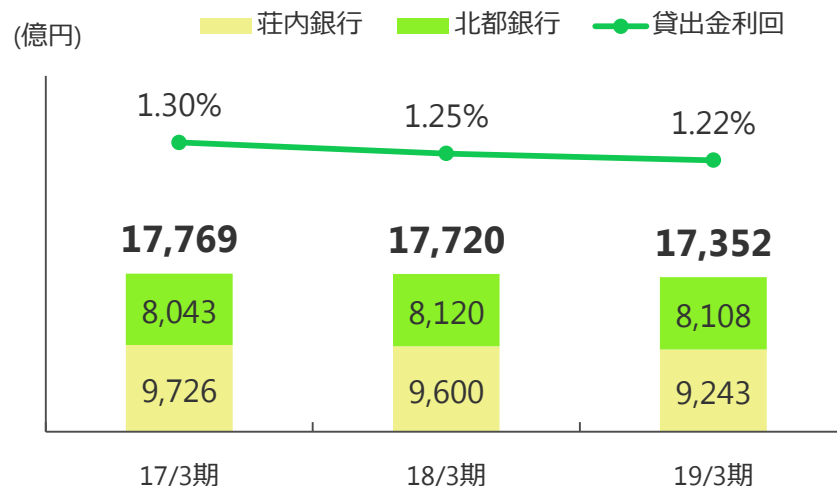
消費者ローン残高 <2行合算>



預金等平残 <2行合算>

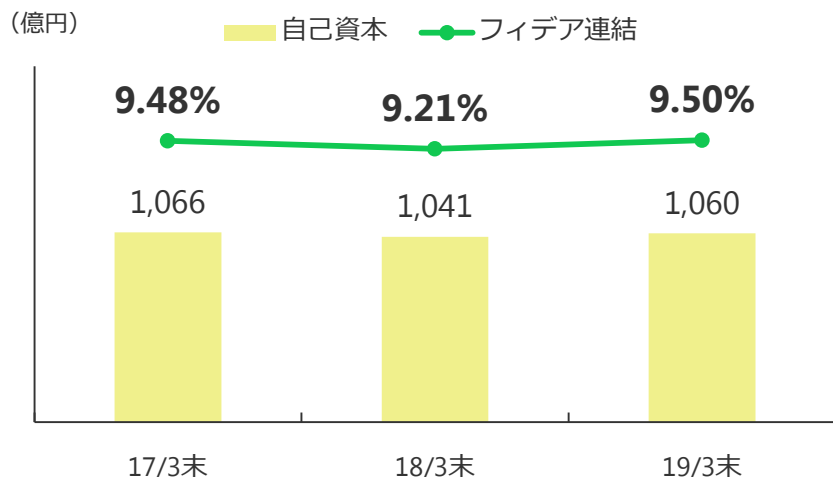


貸出金平残 <2行合算>

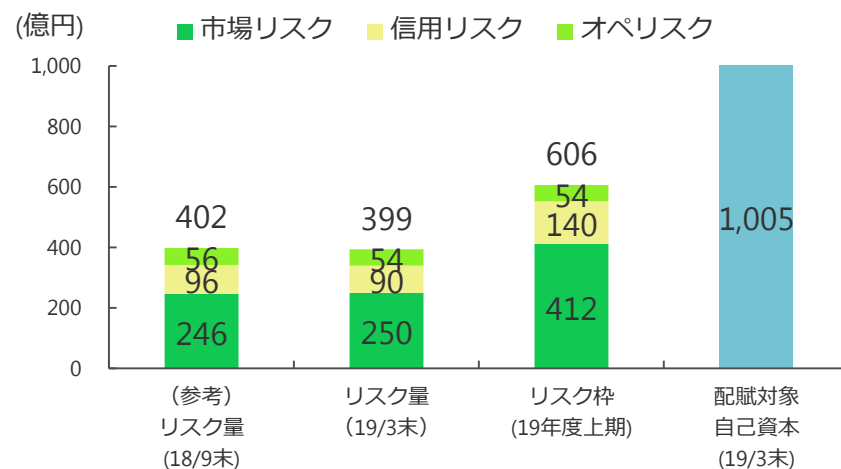


自己資本比率、資本配賦

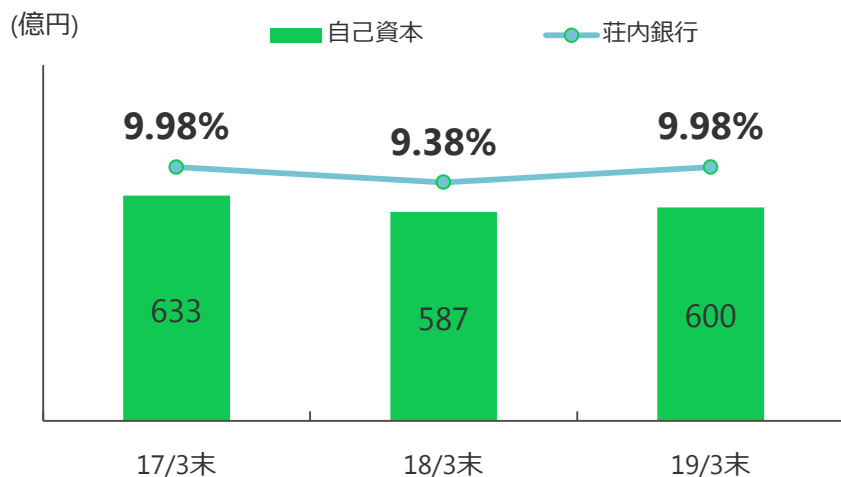
自己資本比率 <連結>



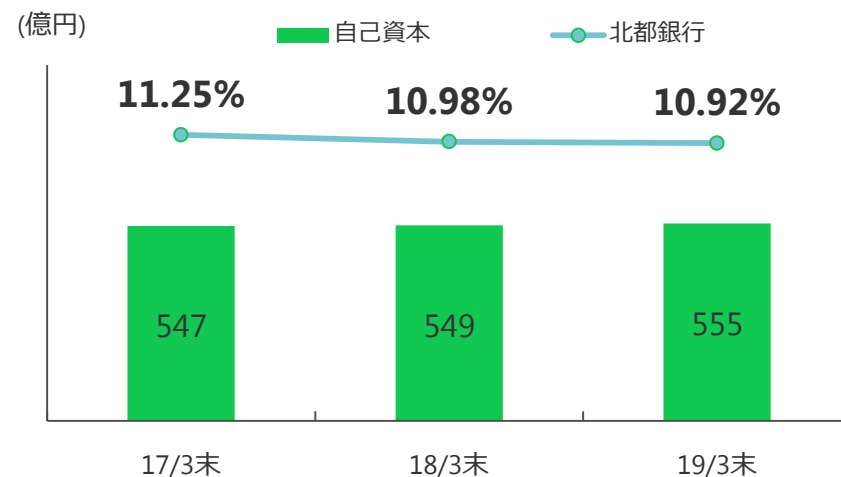
資本配賦 <連結>



自己資本比率 <荘内銀行>



自己資本比率 <北都銀行>



2018年度通期 業績



荘内銀行 <単体>

(単位：億円)	18/3期	19/3期	前期比
経常収益	260	234	△25
業務粗利益	173	158	△15
コア業務粗利益	187	167	△19
うち資金利益	179	162	△17
うち役務取引等利益	16	15	△0
うち国債等債券損益	△13	△9	4
経費（臨時費用除き）	147	140	△7
うち人件費	69	66	△3
うち物件費	65	65	△0
コア業務純益	39	27	△12
一般貸倒引当金繰入額	△4	2	7
業務純益	30	15	△15
臨時損益	△2	5	7
うち不良債権処理額	16	△0	△16
うち株式等関係損益	7	10	2
与信関係費用	11	2	△8
経常利益	28	20	△7
特別損益	△2	△6	△4
税引前当期純利益	25	13	△11
法人税等合計	11	△2	△14
当期純利益	13	16	2
コア業務粗利益OHR	78.81%	83.71%	4.90%
預金等平残	13,284	12,694	△590
貸出金平残	9,600	9,243	△357
有価証券平残	4,286	3,753	△533

北都銀行 <単体>

(単位：億円)	18/3期	19/3期	前期比
経常収益	230	226	△3
業務粗利益	157	166	9
コア業務粗利益	163	155	△8
うち資金利益	147	139	△8
うち役務取引等利益	21	24	2
うち国債等債券損益	△5	11	17
経費（臨時費用除き）	139	136	△2
うち人件費	64	62	△2
うち物件費	65	66	0
コア業務純益	24	18	△5
一般貸倒引当金繰入額	-	△3	△3
業務純益	18	33	15
臨時損益	8	△9	△18
うち不良債権処理額	1	4	3
うち株式等関係損益	8	△4	△12
与信関係費用	△0	△0	0
経常利益	26	23	△2
特別損益	△5	△3	1
税引前当期純利益	21	20	△1
法人税等合計	3	5	2
当期純利益	18	15	△3
コア業務粗利益OHR	85.32%	88.27%	2.95%
預金等平残	12,652	12,672	20
貸出金平残	8,120	8,108	△12
有価証券平残	4,241	3,494	△747

荘内銀行 <単体>

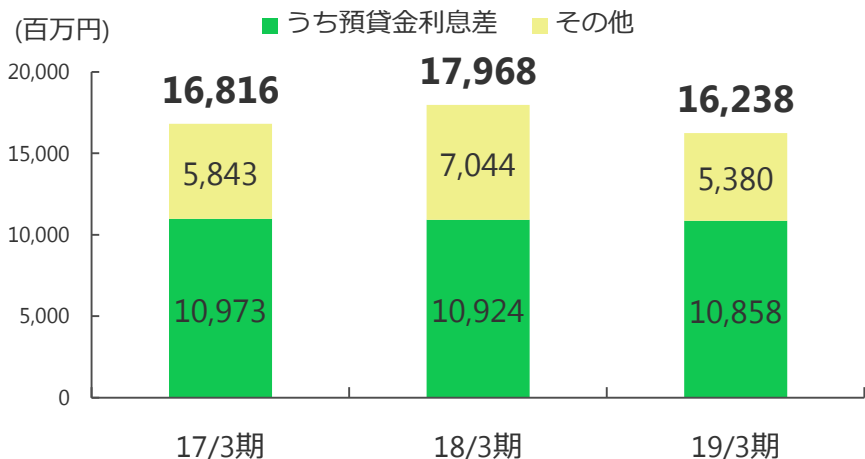
(単位：億円)	19/3期	20/3期計画	前期比
経常収益	234	—	—
業務粗利益	158	156	△2
コア業務粗利益	167	155	△12
うち資金利益	162	148	△14
うち役務取引等利益	15	17	2
うち国債等債券損益	△9	0	9
経費（臨時費用除き）	140	138	△2
うち人件費	66	64	△2
うち物件費	65	64	△1
コア業務純益	27	17	△10
一般貸倒引当金繰入額	2	△2	△4
業務純益	15	20	5
株式等関係損益	10	7	△3
与信関係費用	2	3	1
経常利益	20	23	3
特別損益	△6	△4	2
税引前当期純利益	13	18	5
法人税等合計	△2	4	6
当期純利益	16	14	△2
コア業務粗利益OHR	83.71%	88%台	—
預金等平残	12,694	12,400	△294
貸出金平残	9,243	9,000	△243
有価証券平残	3,753	3,850	97

北都銀行 <単体>

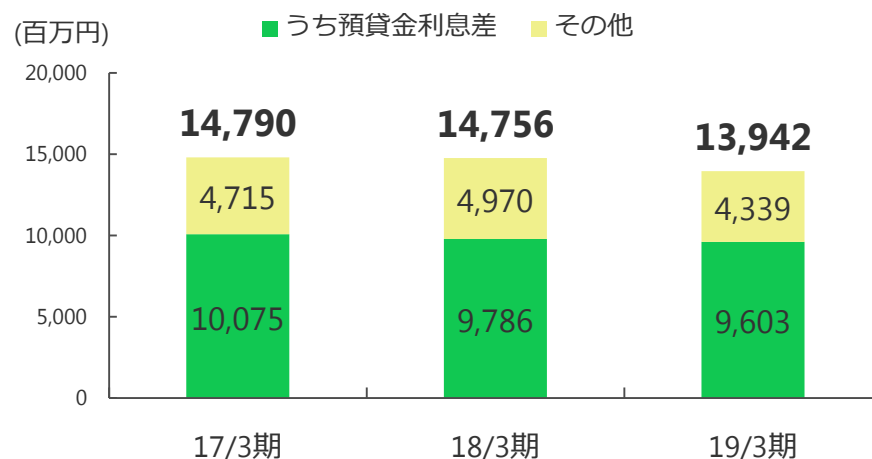
(単位：億円)	19/3期	20/3期計画	前期比
経常収益	226	—	—
業務粗利益	166	153	△13
コア業務粗利益	155	150	△5
うち資金利益	139	132	△7
うち役務取引等利益	24	26	2
うち国債等債券損益	11	3	△8
経費（臨時費用除き）	136	131	△5
うち人件費	62	60	△2
うち物件費	66	61	△5
コア業務純益	18	19	1
一般貸倒引当金繰入額	△3	△0	3
業務純益	33	22	△11
株式等関係損益	△4	3	7
与信関係費用	△0	5	5
経常利益	23	20	△3
特別損益	△3	△2	1
税引前当期純利益	20	17	△3
法人税等合計	5	3	△2
当期純利益	15	14	△1
コア業務粗利益OHR	88.27%	87%台	—
預金等平残	12,672	12,580	△92
貸出金平残	8,108	8,500	392
有価証券平残	3,494	3,650	156

資金利益、利回り

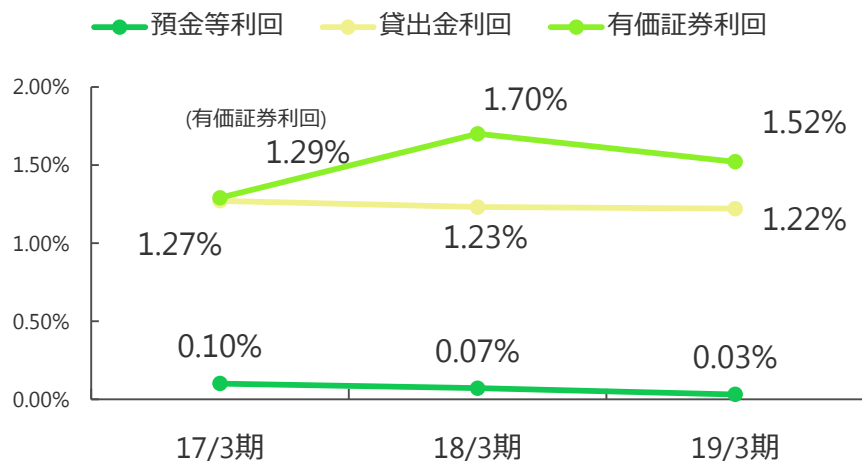
資金利益 < 荘内銀行 >



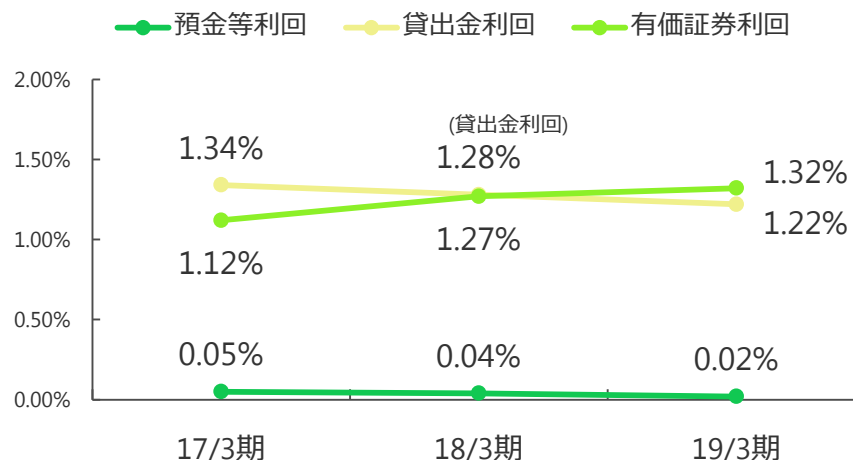
資金利益 < 北都銀行 >



利回り < 荘内銀行 >



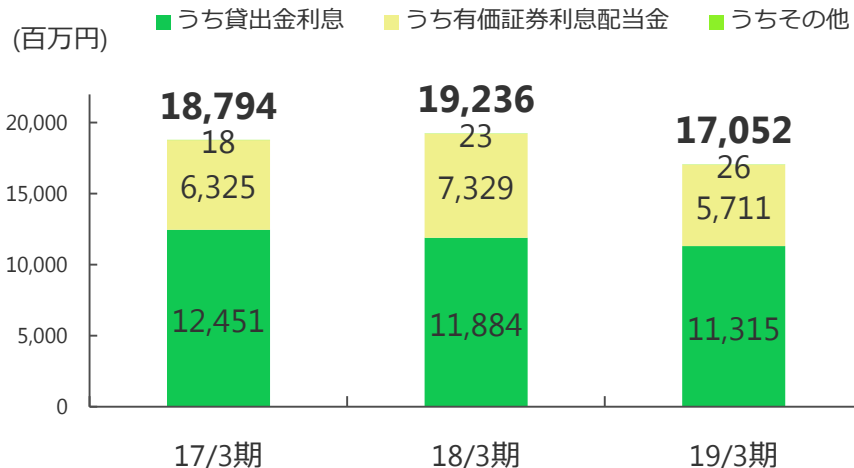
利回り < 北都銀行 >



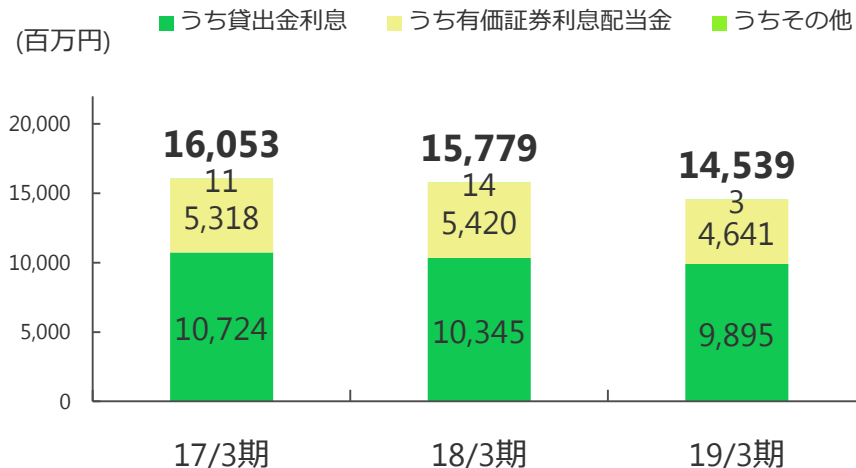
資金運用収益、資金調達費用



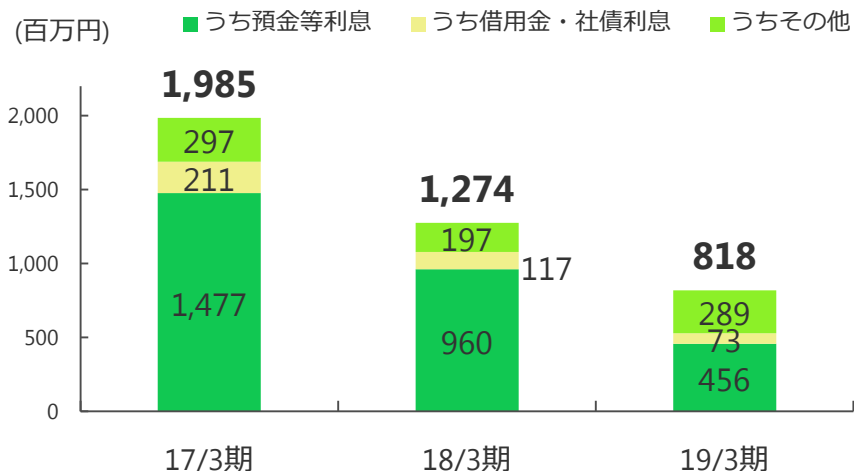
資金運用収益 < 荘内銀行 >



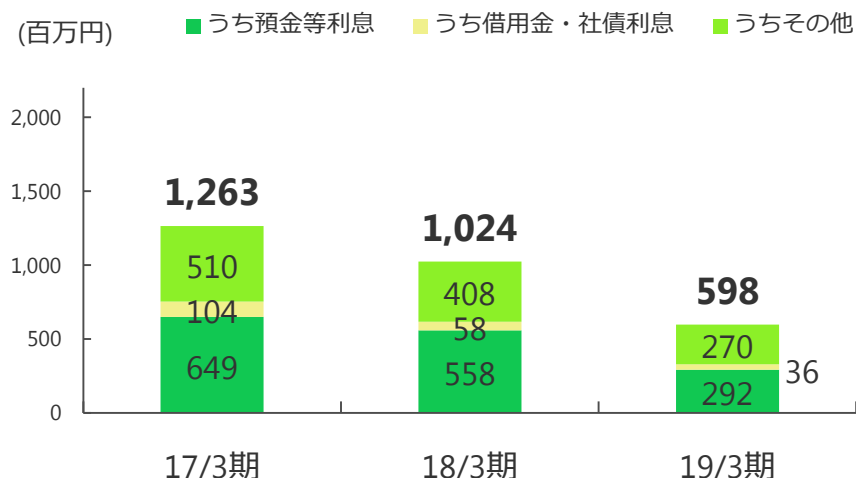
資金運用収益 < 北都銀行 >



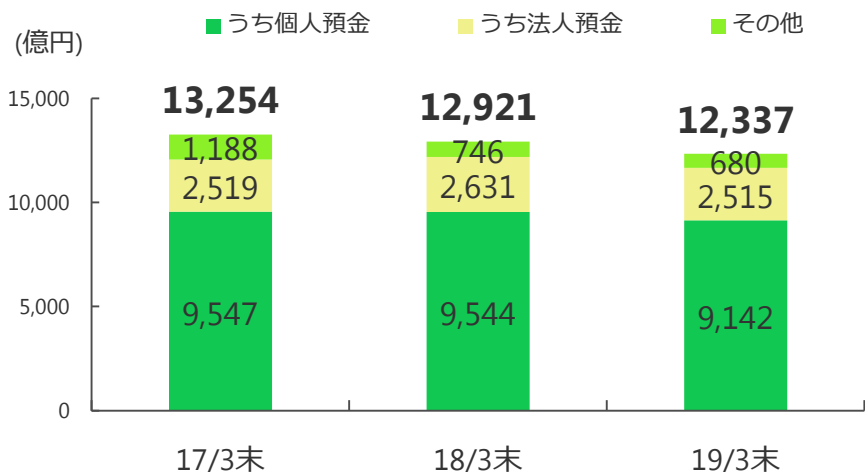
資金調達費用 < 荘内銀行 >



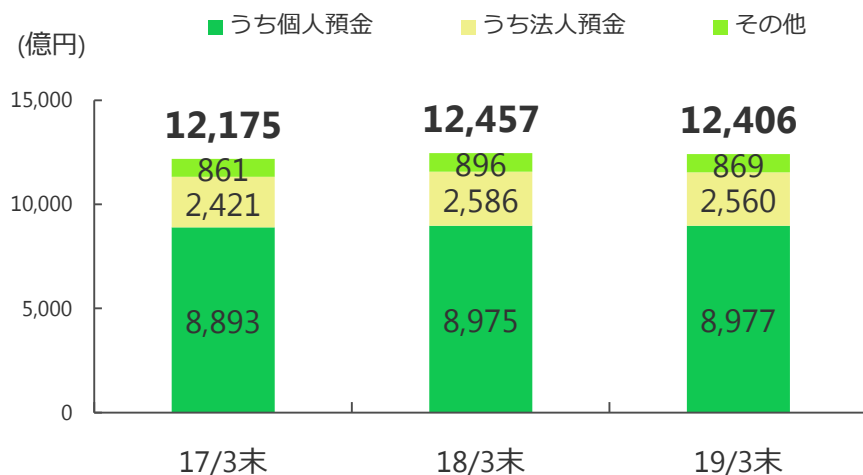
資金調達費用 < 北都銀行 >



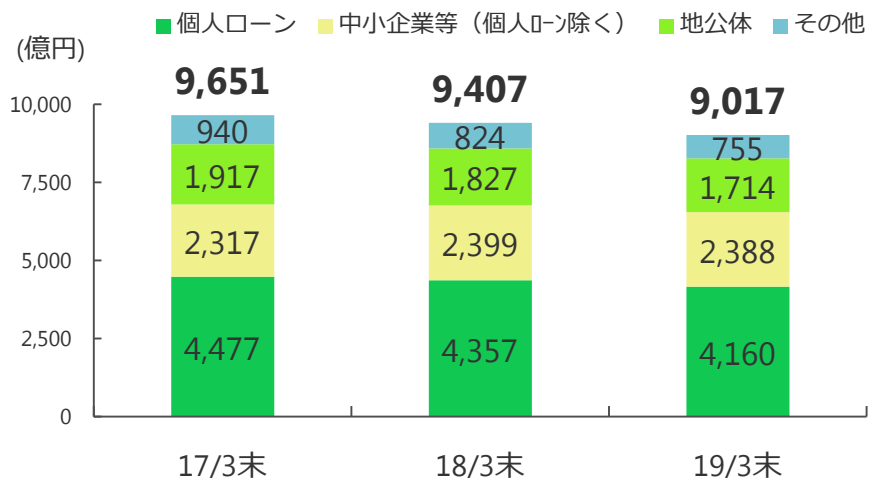
預金者別残高 < 荘内銀行 >



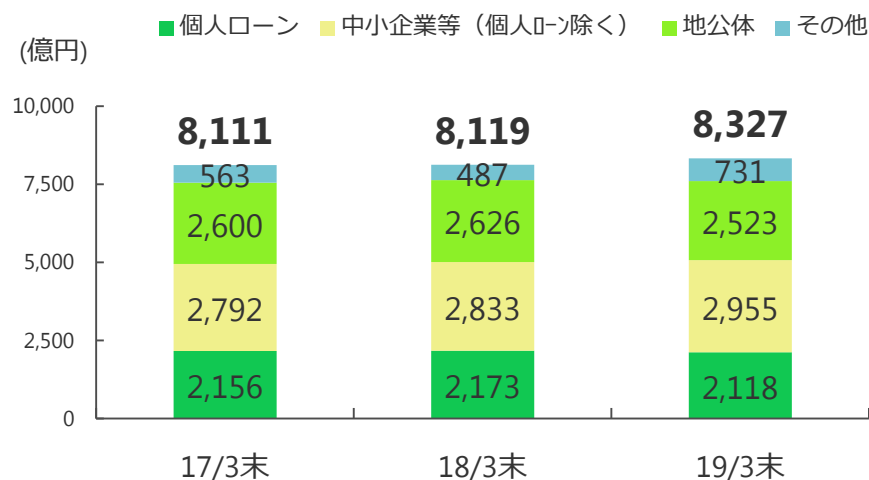
預金者別残高 < 北都銀行 >



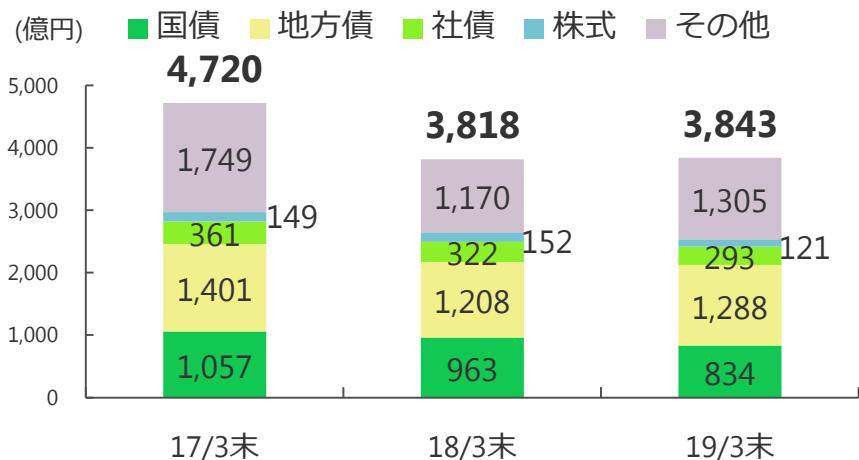
貸出先別残高 < 荘内銀行 >



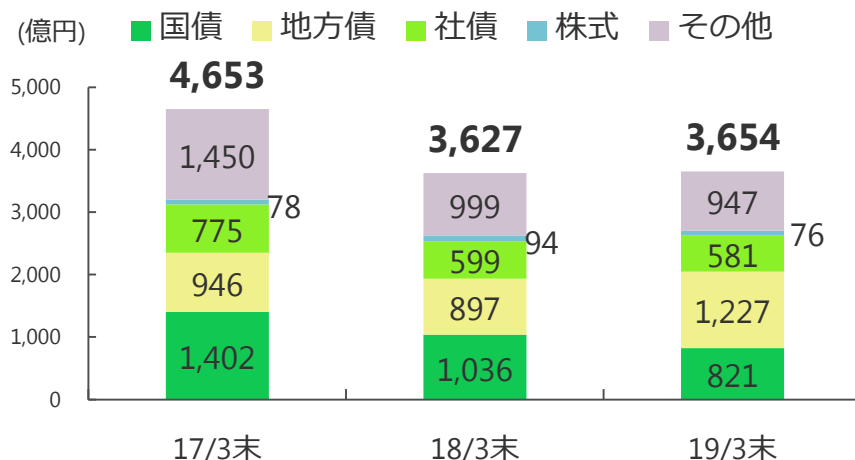
貸出先別残高 < 北都銀行 >



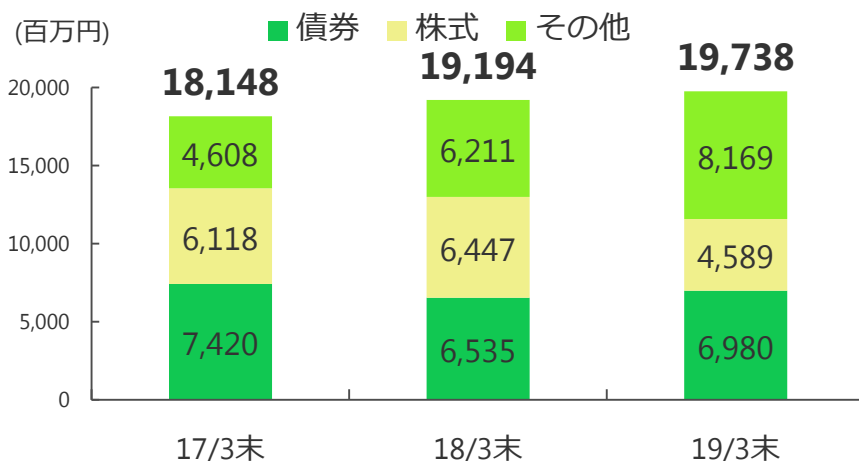
資産別残高 <荘内銀行>



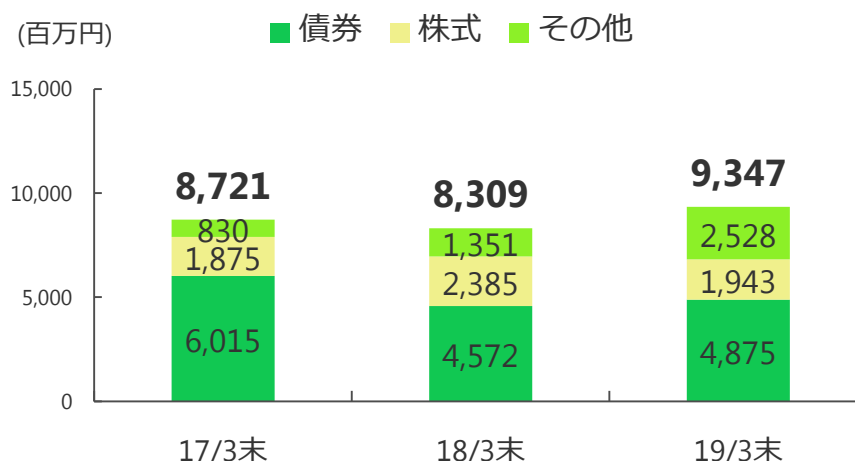
資産別残高 <北都銀行>



その他有価証券評価損益 <荘内銀行>



その他有価証券評価損益 <北都銀行>

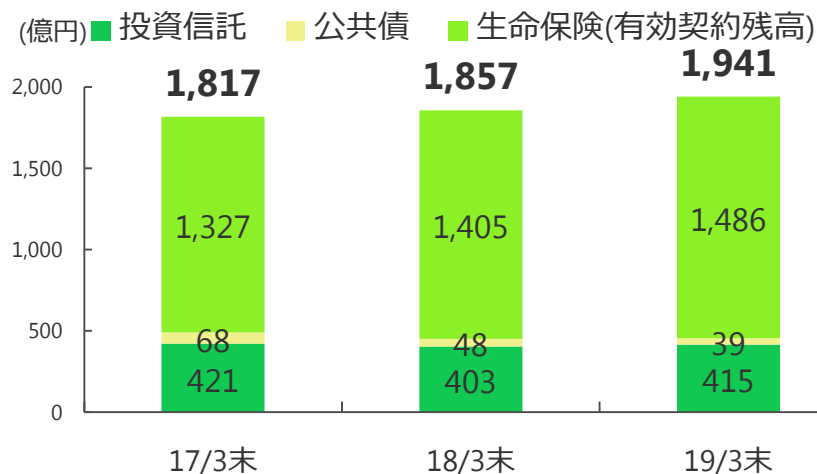


国債等債券損益、株式等関係損益 < 荘内銀行 >

(百万円)	17/3期	18/3期	19/3期
国債等債券損益	508	△1,372	△920
国債等売却益	2,378	833	898
国債等償還益	-	-	-
国債等売却損 (△)	1,841	2,206	1,818
国債等償還損 (△)	-	-	-
国債等償却 (△)	28	-	-

(百万円)	17/3期	18/3期	19/3期
株式等関係損益	639	779	1,007
株式等売却益	765	838	1,284
株式等売却損 (△)	122	59	276
株式等償却 (△)	3	0	-

預かり資産残高 < 荘内銀行 >

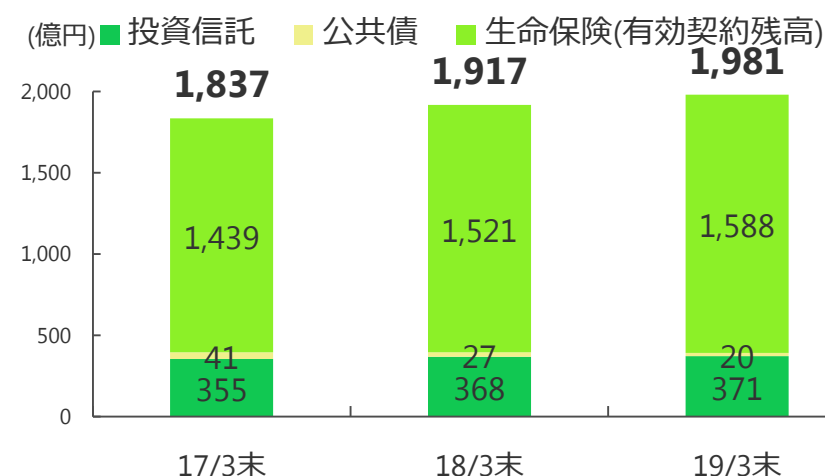


国債等債券損益、株式等関係損益 < 北都銀行 >

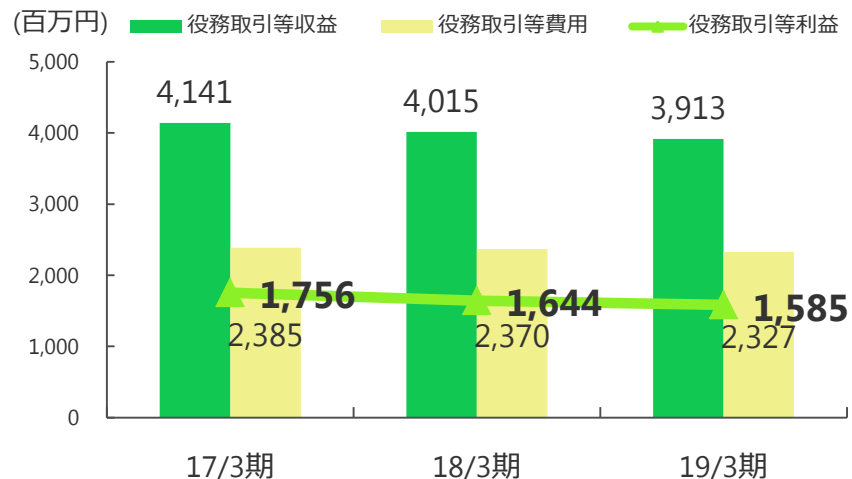
(百万円)	17/3期	18/3期	19/3期
国債等債券損益	739	△597	1,173
国債等売却益	2,396	1,551	2,820
国債等償還益	-	-	-
国債等売却損 (△)	1,657	2,148	1,647
国債等償還損 (△)	-	-	-
国債等償却 (△)	-	-	-

(百万円)	17/3期	18/3期	19/3期
株式等関係損益	623	815	△477
株式等売却益	975	1,053	589
株式等売却損 (△)	352	209	1,066
株式等償却 (△)	0	28	0

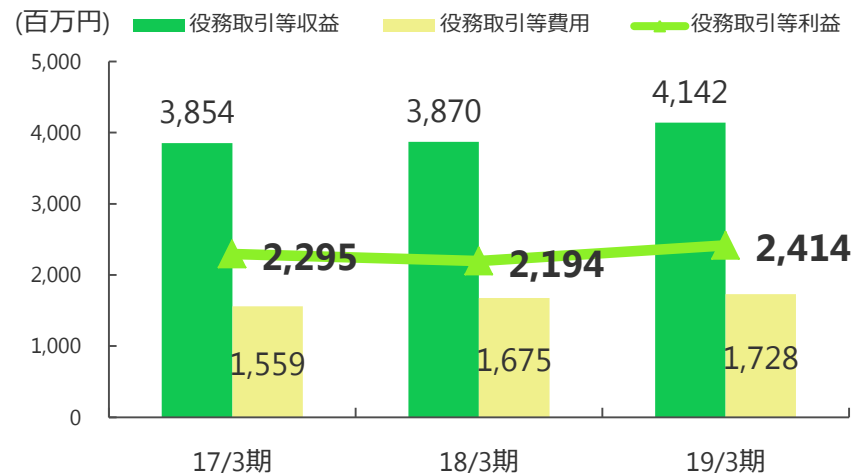
預かり資産残高 < 北都銀行 >



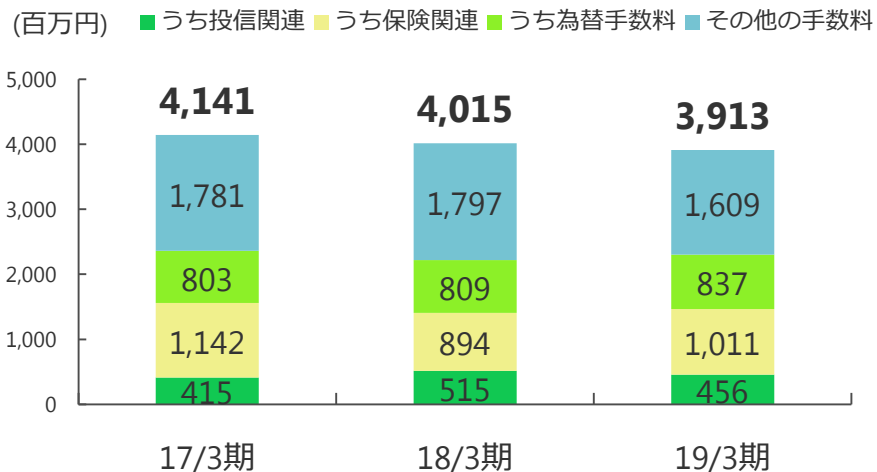
役務取引等利益 < 荘内銀行 >



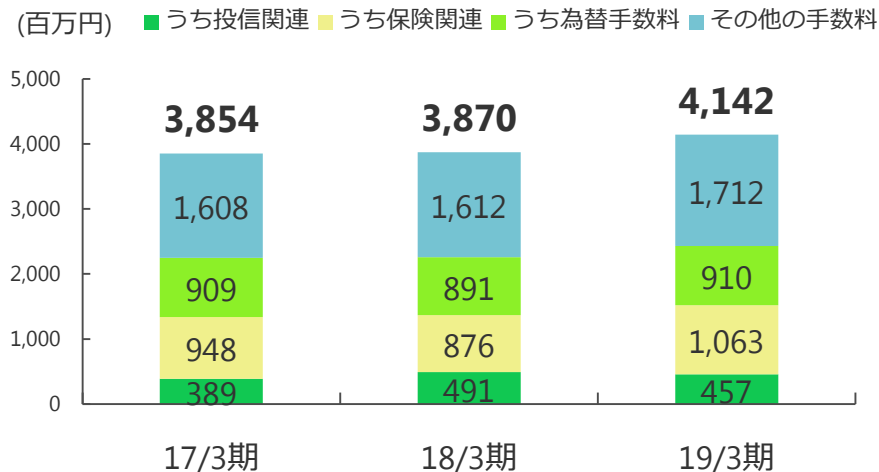
役務取引等利益 < 北都銀行 >



役務取引等収益 < 荘内銀行 >

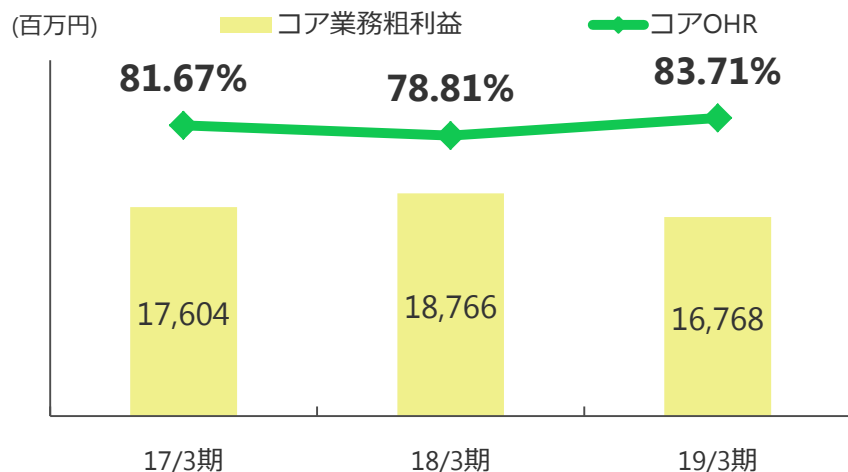


役務取引等収益 < 北都銀行 >

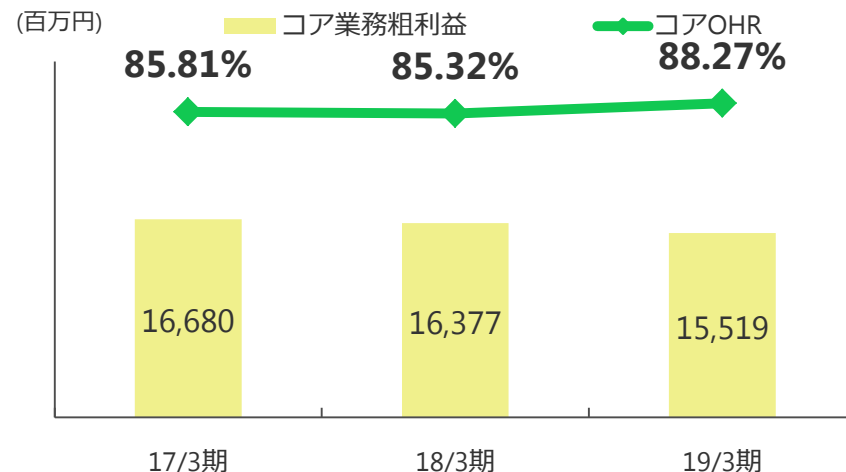


コア業務粗利益OHR、与信関係費用

コア業務粗利益OHR < 荘内銀行 >



コア業務粗利益OHR < 北都銀行 >



与信関係費用 < 荘内銀行 >

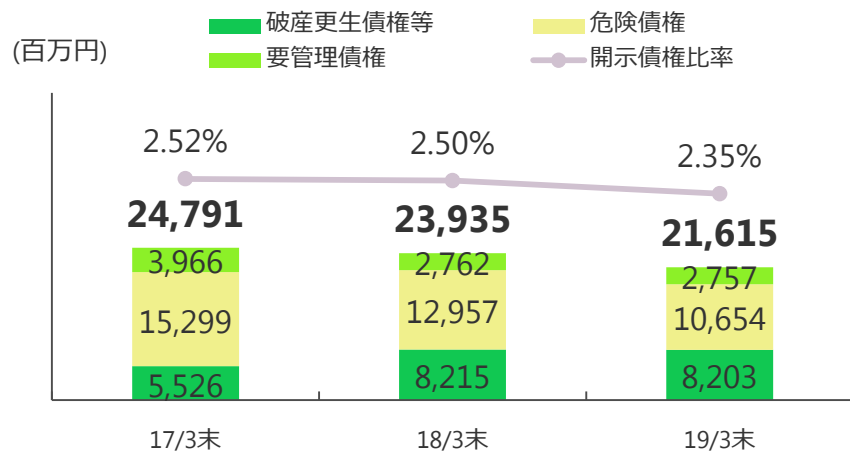
(百万円)	17/3期	18/3期	19/3期
与信関係費用 (△)	2,022	1,162	267
一般貸倒引当金繰入額 (△)	6	△434	280
不良債権処理額 (△)	2,023	1,603	△6
貸倒引当金戻入益	-	-	-
償却債権取立益	7	7	6

与信関係費用 < 北都銀行 >

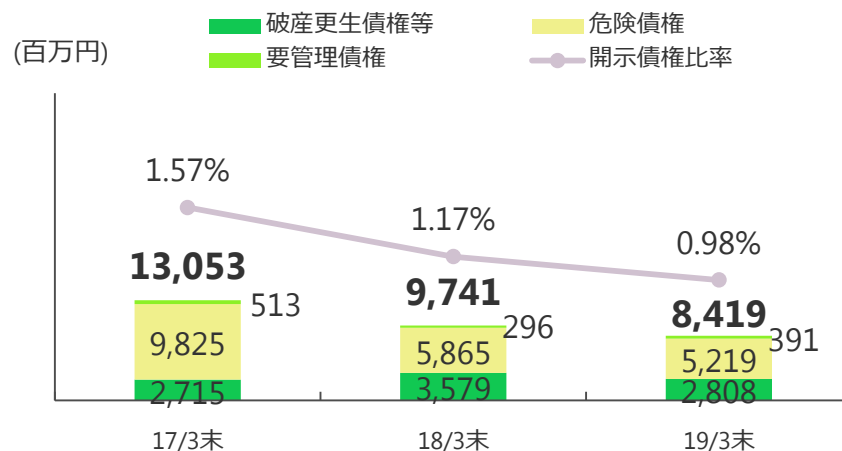
(百万円)	17/3期	18/3期	19/3期
与信関係費用 (△)	1,081	△83	△28
一般貸倒引当金繰入額 (△)	310	-	△371
不良債権処理額 (△)	910	116	493
貸倒引当金戻入益	-	* 103	-
償却債権取立益	139	96	150

* 一般貸倒引当金繰入額△167+個別貸倒引当金繰入額63

金融再生法開示債権 < 荘内銀行 >



金融再生法開示債権 < 北都銀行 >



金融再生法開示債権保全率 < 荘内銀行 >

(単位：百万円)	債権額		保全額		保全率
	(a)	(b)	担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	8,203	8,203	4,007	4,195	100.00%
危険債権	10,654	9,329	8,211	1,118	87.56%
要管理債権	2,757	1,778	1,016	762	64.50%
合計	21,615	19,331	13,236	6,075	89.34%

金融再生法開示債権保全率 < 北都銀行 >

(単位：百万円)	債権額		保全額		保全率
	(a)	(b)	担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,808	2,808	1,399	1,409	100.00%
危険債権	5,219	4,731	3,615	1,116	90.65%
要管理債権	391	299	277	21	76.39%
合計	8,419	7,839	5,292	2,547	93.10%

グループ概要

(2019年3月31日現在)

	フィデアホールディングス	荘内銀行	北都銀行
設立	2009年10月1日	1878年12月1日	1895年5月3日
本店所在地	宮城県仙台市	山形県鶴岡市	秋田県秋田市
代表者	代表執行役社長CEO 田尾祐一	取締役頭取 上野雅史	取締役頭取 伊藤 新*
資本金	180億円	85億円	125億円
総資産	(連結) 2兆7,312億円	1兆3,878億円	1兆3,568億円
純資産	(連結) 1,195億円	680億円	599億円
従業員数	(連結) 1,874名	773名	790名
店舗数	—	87か店	85か店
銀行以外の 関連会社	フィデアカード フィデア情報システムズ** フィデア総合研究所** フィデアキャピタル フィデアリース	—	—
格付	JCR : BBB+ (安定的)	JCR : BBB+(安定的)	JCR : BBB (安定的)

* 2019年4月1日就任

** フィデア情報システムズとフィデア総合研究所は、2019年10月に合併予定

(2019年4月1日現在)

 **荘内銀行** 87か店
(ブランチ・イン・ブランチ統合後 67か所)

 **北都銀行** 85か店 1事務所
(ブランチ・イン・ブランチ統合後 74か所)

 **荘内銀行** 64か店 (50か所)

 **北都銀行** 1か店

Web店

2


 **荘内銀行** 1か店

 **北都銀行** 1か店

82

(71か所)

 **荘内銀行** 1か店

 **北都銀行** 81か店 (70か所)

秋田県

65

(51か所)

山形県

宮城県

16

(12か所)

 **荘内銀行** 15か店 (11か所)

 **北都銀行** 1か店

福島県

2

 **荘内銀行** 2か店

東京都

5

(3か所)

 **荘内銀行** 4か店 (2か所)

 **北都銀行** 1か店



 **北都銀行**

(バンコク駐在員事務所)



荘内銀行



- 1878年12月 第六十七国立銀行創業（現山形県鶴岡市）
- 1881年1月 第百四十国立銀行を合併
- 1941年4月 六十七銀行、鶴岡銀行、風間銀行、出羽銀行が合併し、荘内銀行を設立
- 2006年2月 東京証券取引所市場第一部に上場(フィデアホールディングスの上場にあわせて、荘内銀行は上場廃止)
- 2017年5月 現本店竣工
(2018年12月) (創業140周年)



北都銀行



- 1895年5月 増田銀行創業（現秋田県横手市増田町）
- 1922年3月 羽後銀行に商号変更
- 1964年5月 本店を秋田市に移転
- 1977年11月 本店新館竣工
- (1989年4月) (秋田あけぼの銀行スタート。1949年創業の秋田相互銀行が普銀転換)
- 1993年4月 羽後銀行と秋田あけぼの銀行が合併し、北都銀行誕生



フィデアホールディングス株式会社

- 2009年10月 フィデアホールディングス株式会社（両行の共同持株会社）を設立。東京証券取引所市場第一部へ上場
- 2010年3月 優先株式を発行し公的資金100億円を受け入れ
- 2013年12月 第三者割当により転換社債型新株予約権付社債60億円を発行（2015年8月までに全額普通株式に転換）

連 携 先

- 山形県、秋田県、各県内市町村と地域活性化支援や災害復旧支援等のための連携を実施
- 山形大学、秋田大学、東北公益文科大学、国際教養大学、慶応義塾大学等と連携し、大学発ベンチャーや活性化プロジェクト等を支援
- 東北銀行(本店,岩手県)と包括的な業務提携を実施。東京支店の共同店舗化のほか、ビジネスマッチング分野での協業や、事業承継ニーズの共有、後継先の相互紹介など、お取引先の本業支援の分野での具体的な取り組みやノウハウ共有を実施
- 日本M & Aセンター、みずほ信託銀行、朝日信託、ヒューレックスグループ等と連携し、お取引先の事業承継やM & A、相続対策、後継者確保等を支援
- マイクロ投資ファンドを運営するミュージックセキュリティーズ社や、クラウドファンディングサイトを運営するREADYFOR社と連携し、ファンド組成の実績を積み上げ
- アジアを中心とした海外の金融機関等との提携や、中国黒竜江省ハルビンやタイバンコクの駐在員を活用し、お取引先の海外進出や販路拡大を支援

海外の金融機関等（直接提携先）

- カシコン銀行（タイ王国）
- タイ国投資委員会（政府機関）
- バンクネガラインドネシア
- ベトコム銀行（ベトナム社会主義共和国）
- バオベトホールディングス（ベトナム社会主義共和国）
- マレーシア工業開発銀行
- BDOユニバンク（フィリピン共和国）
- KEBハナ銀行（大韓民国）
- アメリカン・セイビングズ・バンク（米国ハワイ州）

出資を含む連携先

- GLコネクト（伊藤忠商事子会社・地方創生）
- ウェンティ・ジャパン（風力発電事業）
- 地域ヘルスケア産業支援ファンド（医療・介護ビジネス）
- とうほくのみらい応援ファンド（アグリビジネス）
- あきたベジフルサポート（アグリビジネス）
- あきた食彩プロデュース（アグリビジネス）
- PNB-INSPiRE Ethical Fund 1
（イスラム法適格ファンド・ハラールビジネス支援）
- FinTechビジネスイノベーションファンド(SBIグループ)



地域と向き合う、次代につなぐ。信頼のFIDEA

グループ理念 <FIDEA 5>

私たちは、地域に密着した「広域金融グループ」として、
お客さまの高い満足と地域の発展のために、
上質な「金融情報サービス」を提供し続ける。

- (1) 常にインキュベーション、イノベーションを創発する「開かれたネットワーク」を目指す。
- (2) 次代へのナビゲーション、ソリューションを提供する「お客さまのベストパートナー」となる。
- (3) 過去の慣例にとらわれない発想とチャレンジにより「地域のフロントランナー」であり続ける。
- (4) 人材を活かし、組織をつなぎ、価値創造へとリードする「金融情報サービスのプロ集団」となる。
- (5) 顧客と社会の視点に立って、透明・公正・公開に徹する「信頼の金融グループ」であり続ける。

- 事前にフィデアホールディングス株式会社の許可を得ることなく、本資料を転写、複製すること、または第三者に配付することを禁止いたします。
- 本資料は情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。
- 本資料に記載された事項の全部又は一部は予告なく修正又は変更されることがあります。
- 本資料には将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。